

若者はなぜ移動するのか

前号第2特集で国を越えて移動する留学生について特集した。

今号のターゲットは国内で移動する若者である。

現在、統計データで見ると「若者は移動している」ように見えるが、

実態は移動する層と移動しない層で二極化しているようだ。

では、その背景にどのような社会情勢や若者の価値基準があるのか。

そして、物理的な距離を越えて若者を惹きつける学校には何があるのか。

若者のニーズにどう寄り添っているのか。

そこにしかない価値をどう創り、主体的な移動を促すのか。

本学のターゲットは誰で、どこにいて、何を魅力と感じるのか。

それは、マーケティング戦略の話でもある。

そして、挑戦心ある若者を育成するための地域連携・高大連携の話でもある。

「若者が地域にいない」と嘆くだけでなく、「どうすれば来てもらえるか」を本気で考えなければ、

早晚地域は今以上に衰退するだろう。「今いる若者をどう囲い込むか」という思考も、広がりには限界がある。

では、われわれは、「若者が来てくれる地域」をどのくらい解像度高く描けているだろうか。

そこで高等教育機関はどのように存在感を放っているだろうか。

東京一極集中と呼ばれて久しい人流だが、東京と二項対立的に捉えないことで、

見えてくるものはたくさんありそうだ。

本特集では、進学・就職時点の移動についてデータで現状を俯瞰しつつ、現場の兆しや変化を多く盛り込んだ。

今後さらに厳しくなるであろう状況と取っ組み合う参考になれば幸いである。



- 高校座談会** **若者の挑戦マインドを喚起し可能性を広げる教育を、高校も大学も**
 三重県立津東高校 校長 土方清裕
 青森県立大湊高校 校長 千葉栄美
 長崎県立松浦高校 校長 舟越 裕
- レポート** **若者の移動の現状**
 リクルート進学総研 研究員 鹿島 梓
- 調査報告** **大学生の地域間移動に関するレポート2024より**
地域選択は“本質的な地域を知ること”が鍵
 リクルート 就職みらい研究所 研究員 徳永英子
- インタビュー** **若者の生態を知る**
 僕と私と株式会社 代表取締役社長 今瀧健登
 電通若者研究部「ワカモン」 大島佳果、兵澤 諒
- 事例** **外から人を呼び込む学校**
 芸術文化観光専門職大学
 東京農業大学 北海道オホーツクキャンパス
 サイバー大学
- インタビュー** **唯一無二の教育の魅力化で地域への人流を創出**
 一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム会長・理事 水谷智之
- 編集長の視点**

